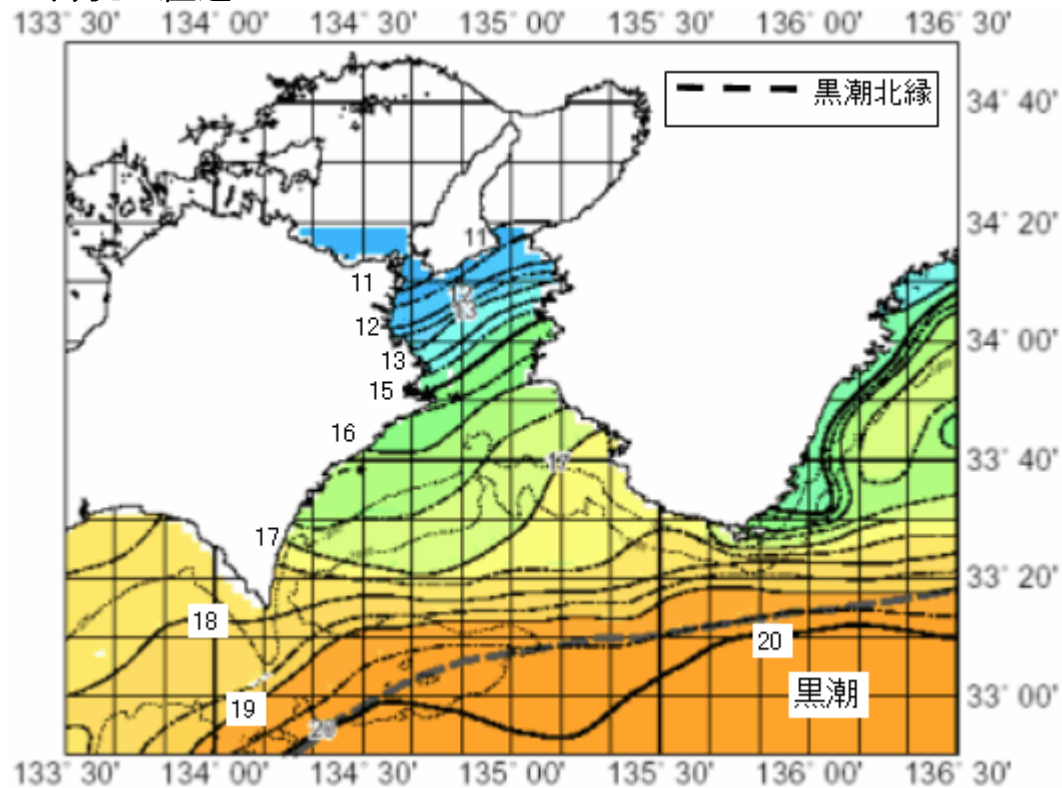


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.03.17)を示した。黒潮は室戸岬沖で接岸し、潮岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は19～20℃台である。表面水温は播磨灘が10℃台、紀伊水道内部が10～15℃台、外域が15～17℃台である。気温の上昇に伴い、先週から1℃程度上昇している。

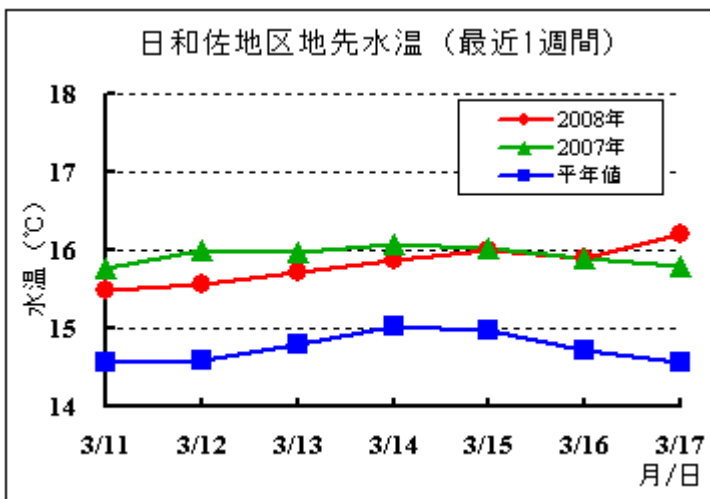
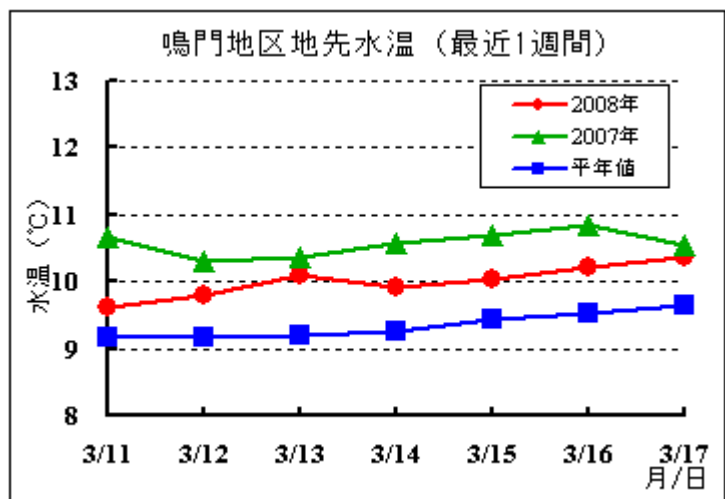
漁業調査船「とくしま」が3月6,10,11日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層～20m層までは「高め」の13.1～13.7℃、30～50m層では「やや高め」の13.6～14.1℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2008/03/6,10,11)

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	13.2	13.1	13.7	13.6	14.1	今年値	34.0	34.0	34.2	34.2	34.3
平年偏差	1.8	1.6	1.7	1.3	1.0	平年偏差	0.9	0.6	0.6	0.5	0.3
前年偏差	0.2	0.0	0.1	-0.3	-0.5	前年偏差	0.6	0.5	0.4	0.2	0.1

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の9.6～10.4℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の15.5～16.2℃、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の16.3～17.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、アマダイが0.2トン(1日1隻あたり8kg)、大主体にトラフグが64kg(同5kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、小主体にマルアジが0.8トン(同51kg)、小主体にマアジが0.7トン(同31kg)、アオリイカが0.4トン(同13kg)、キビナゴが0.3トン(同32kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、特大主体にブリが7.3トン(同814kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、タチウオが1.7トン(同32kg)、特大主体にヨコワが1.5トン(同38kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが1.3トン(同51kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、イカナゴが32.0トン(同653kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)03月10日～03月16日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	26	216	8	
		トラフグ	14	64	5	大主体
小型定置網		マルアジ	16	810	51	小主体
		マアジ	23	712	31	小主体
		アオリイカ	29	367	13	
		キビナゴ	9	285	32	
		大型定置網	ブリ	9	7,324	814
釣り		タチウオ	54	1,727	32	
		ヨコワ	38	1,457	38	特大主体
		紀伊水道	タチウオ	26	1,319	51
パッチ網	紀伊水道	イカナゴ	49	32,000	653	

特異事項:

海部沿岸の上灘で15cm前後のアカクラゲが出現し、小型定置網等に入網している。

先週に引き続き、暖水の波及に伴い、海部沿岸の下灘で操業する大型定置網にハリセンボンが入網している。

週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸し、潮岬沖で接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の10℃台、日和佐地先で「高め」の16℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の曳き縄で、カツオが30.5トン(1日1隻あたり49kg)、ビンナガが29.2トン(同47kg)、キハダが2.1トン(同3kg)、釣りで、イサキが0.8トン(同20kg)、パッチ網でシラスが43.3トン(同541kg)、イカナゴが9.5トン(同119kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、ブリが5.0トン、マアジが8.7トン、サバ類が7.2トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上